令和8年(2026年)
11月15日
第471号

中央区だより

にぎわう都心、豊かな自然、
みなとまち文化が織りなす
活気あふれる拠点のまち

区の人口（住民基本台帳による）

人口…… 170,913人 （+43）
男……80,823人 （+38）
女……90,090人 （+５）
世帯……91,972世帯 （+107）

※令和８年10月末現在の住民基本台帳による。（ ）内は前月末比

中央区役所だより　発行：新潟市 中央区役所 地域課 〒951-8553 新潟市中央区西堀通６番町866番地　電話：025-223-7035

鳥屋野潟で楽しもう！ 秋冬の野鳥観察

多くの人が暮らす市街地にありながら、さまざまな野鳥が集まる鳥屋野潟。秋冬にはハクチョウをはじめ、多くの鳥たちが見られます。この時期に出会える野鳥や探鳥のコツ、観察時のマナーを紹介します。鳥屋野潟で野鳥観察を楽しんでみませんか。



＼知っていますか？／

中央区の大きな水辺、鳥屋野潟

中央区南部の市街地に位置する鳥屋野潟。面積約158ヘクタールで、市内では福島潟に次いで**２番目に大きな潟**です。周辺には公園や公共施設が整備されているほか、**大雨の時には一時的に河川の水を貯める役割**も担っています。



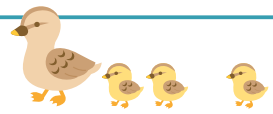
「潟のデジタル博物館」はこちら▼

野鳥観察のプロに聞いてみました！



日本野鳥の会新潟県
会長 岡田 成弘（なりひろ）さん

Q１ なぜ鳥屋野潟には多くの野鳥が集まるの？



鳥屋野潟には安全な休み場所と食べ物があります。

潟を囲むように生育するヨシ原（はら）がカーテンの役割を果たし、広い湖面と町並みを優しく隔て、潟の水草や魚を食べる水鳥などが安心して過ごせる環境をつくっています。

また、潟の周辺には公園の森があり、木の実や虫を食べる鳥、さまざまな種類の鳥が集まります。こうした**多様な鳥屋野潟の環境が多くの野鳥を集める理由**です。

Q２ 秋冬にはどんな野鳥が見られる？

ハクチョウやカモ類、カイツブリ類、タカ類、越冬する小鳥など、さまざまな野鳥を見ることができます。

これまでに鳥屋野潟で観察された野鳥は 180種類以上！


カモ目カモ科 マガモ


カイツブリ目カイツブリ科 カンムリカイツブリ


カモ目カモ科 ミコアイサ


タカ目タカ科 オオタカ

写真提供：日本野鳥の会新潟県　岡田 成弘

Q３ 野鳥観察のコツやマナーはありますか？

身近な鳥を「**ものさし鳥**」として覚えることがコツです。身近な鳥を基準にすると、見慣れない鳥にも気付きやすくなります。また、鳥は自分より何倍も大きい人間を警戒します。観察するときは、**蛍光色の服装を避け、ゆっくり動くことや、小さな声で話すことを心掛けましょう。**

Q４ 野鳥観察の魅力はどんなところ？

野鳥観察を通して、季節の移り変わりを感じられることが魅力です。野鳥は野生動物の中でも身近な存在であり、特に鳥屋野潟は人と鳥の距離が近く、四季折々の野鳥を身近に観察できます。ぜひ、鳥屋野潟で野鳥観察を楽しんでみてください。

区だより担当者が行ってきました！

初心者向け探鳥会

10月25日、鳥屋野潟公園（鐘木地区）で日本野鳥の会新潟県主催の初心者向け探鳥会が行われました。この日観察できた野鳥は16種類におよび、野鳥を見つけるたびに参加者から驚きの声が上がるなど、観察を楽しむ様子が見られました。





同会では
探鳥会を随時開催中！
詳しくはこちら▶

知ってる？新潟市の鳥

「ハクチョウ」のこと

豆知識

冬の鳥屋野潟には、最大で約4,000羽のハクチョウが飛来します。

クイズ

新潟市はコハクチョウの越冬数が日本一と言われていますが、コハクチョウはどちらでしょう？



☞クイズの答えは２面で確認！

11/28(土)

みんなで魅力再発見

“鳥屋野潟”

～鳥屋野潟を舞台にした活動・大見本市～

入場無料・申込み不要

鳥屋野潟の魅力を紹介するイベントを開催します。この機会に、鳥屋野潟の新たな魅力を発見してみませんか。

問 区自治協議会第３部会 事務局（地域課内）（☎223-7023）
日 11月28日（土）
午前11時～午後３時
※出入り自由
場 市民プラザ（NEXT21・６階）
内 活動紹介ブース（パネル展示）、参加団体活動発表、映像上映、トークセッションなど
参加団体などの詳細はこちら▶

先着で来場者プレゼントあり！

日＝日時　場＝会場　内＝内容　人＝対象・定員　持＝持ち物　¥＝参加費（記載のないものは無料）　申＝申し込み（記載のないものは当日直接会場）　問＝問い合わせ